

# WORKSTATION TIMES

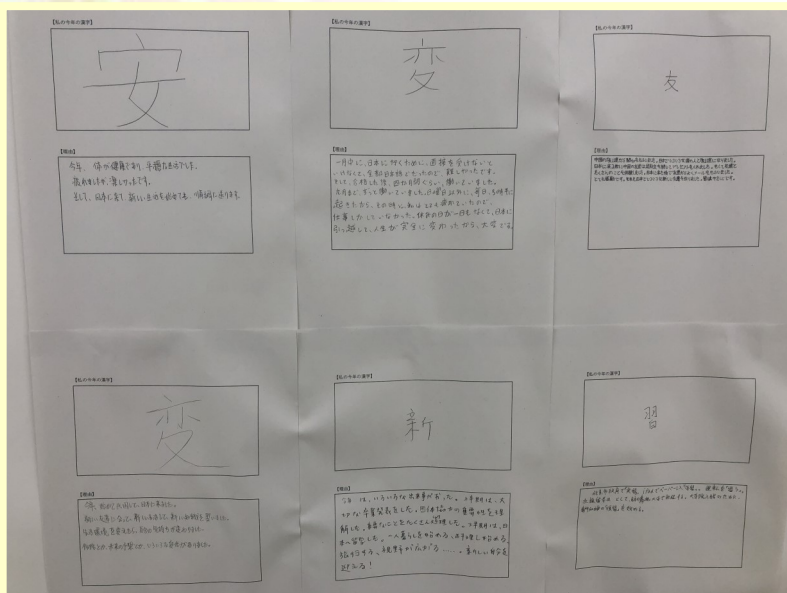
2020 January vol.24



## 2020年がスタートしました！

本年もよろしくお願い申し上げます。

まずは、昨年の授業の一環で留学生のみなさんが選んだ「**留学生の今年の漢字2019**」をご紹介します！



日本への留学で大きな変化や新たな出会い、生活が始まったという理由から「変」や「新」という漢字を選んだ留学生が多かったようです。その他、「安」や「友」、「習」を選んだ留学生もいました。

毎年京都の清水寺で発表されている今年1年の世相を漢字ひと文字で表す「今年の漢字」ですが、平成が終わり、元号が令和になった今年は応募の中から「令」の文字が選ばれました。



皆さんにとってはどんな1年になりましたか？

## 新しいStudent Supporterが加わりました！

今年から新しくStudent Supporterが加わりました！元からのスタッフも引き続きお仕事をします。わからないことがあれば気軽に声をかけてください！



こんにちは、夏目といいます。

大学では、文学などを学んでいます。

無計画に海外に旅行に行くのが好きです。

よろしくお願いします。

(左から、盛山・阿部・夏目・金津)

## 第五回「中国語技能コンテスト」を開催しました！

2019年12月14日（土）、第五回「中国語技能コンテスト」が開催されました。毎年恒例となっているこのイベントには、学生・教職員等合わせて92名の参加がありました。



コンテストは「朗読」部門と「スピーチ」部門に加え、今年は新たな試みとして「歌唱」部門がありました。また、司会も3名の学生が行い、日本人学生は中国語で、中国人学生は日本語で進行しました。朗読部門には4月から中国語学習を始めた7名の1回生が参加し、朱自清の「匆匆」を朗読しました。



スピーチ部門には6名の2、3回生が参加し、自分の専攻分野や興味に関する事、海外での体験などを思い思いに表現しました。参加者は限られた時間の中でメッセージを伝えるために表現などを工夫したり、先生方や中国からの留学生に発音などを指導したりしてもらいながら、本番当日まで練習に励んでいました。



その後、昨年の夏に1か月間「北京大学海外研修」に参加した学生からの報告がありました。これから留学を考えている学生にとっては参考になったのではないのでしょうか？

また、今回新たに始まった歌唱部門では、中国の伝統的な音楽など3曲を中国語で歌い、会場も暖かい雰囲気になりました。また曲の合間には中国の文化や曲に関するクイズもあり、非常に盛り上がりました！



## 日中大学生餃子交流会を開催しました♪

2019年12月22日（日）、松江市国際交流会館にて日本人学生と中国からの留学生との餃子交流会が行われました！この日中大学生の交流や中国の餃子づくりを体験する目的として始まったこのイベントは、年に2回の恒例行事となっています。

今回も、日本人と中国人合わせて約20名の学生が参加し、中国人の先生方や留学生に教わりながら生地から手作りの水餃子を作りました。日本人にとっては生地から作る機会はあまりないので丸い皮を作るのに苦戦しながらも、楽しく作ることができました！



全員でテーブルを囲み、完成した餃子を食べながら日本語や中国語で会話を楽しんだり、中国での留学体験や旅行の話などで盛り上がりました。

## 今月の「わたしの先生」！ 中国語担当：岡村先生

中国語学習中の皆さん、こんにちは！

世界には6000以上の言語があると言われてますが、ネイティブスピーカーが14億人以上いる言葉は1つしかありません。それは、中国語です。中国は「四大文明」の一つ、黄河文明を作りあげた国でもあります。

新しい言語を習得するという事は、皆さんの人生を楽しく、豊かなものにする、とても意義の大きなことです。言葉の勉強の良いところは、頑張れば頑張っただけ成果が出てくる所です。

中国語は、中国本土・台湾・シンガポール・マカオ・香港の公用語であるほか、世界各国にいる華僑・華人たちの間で話されています。中国語を母語とする人は約14億人、第二言語としても約2億人が使用しているといわれており、世界最大の母語話者人口を有します。国連における公用語の一つにもなっています。



## 今月の「わたしの先生」！ 中国語担当：岡村先生

さて、中国語は、一体どんな言語でしょうか。中国大陸と台湾では、主に「中文」と呼びます。中国は多民族・多言語国家であり、少数民族の言語も「中国の言語」と言えなくもないことから、それらと区別するために汉语（漢語）（漢族の言語）と呼ぶことがあり、学術的な用語としてもよく使われます。他に現地では「華語」、「中国話」などとも言う呼び方もあります。中国語の内、標準語である標準中国語には普通話（中国）、国語（台湾）、華語（シンガポールやマレーシアなど）があります。なお、一般的に、中国語では、文字のある言語「文」といい（例：フランス語→法文）、明確に定めた文字のない言語、方言あるいは口語・会話のことを指すときには話（話）という（例：上海話）。語（語）は、前述の両方に使われます（例：閩南語）。

では、中国語の特徴とは？ことにその美しさについて一般的に言われることは、「漢文からの簡潔さ」ということです。簡潔さの例として、まず中国語では時制が省略されます。ゆえに現在か未来か過去かは読者の判断にゆだねられます。また句と句、語と語の関係が、条件と結果であるとき、順接であるとき、逆接であるとき、いずれも概ね語順によってのみ示され、これも読者の判断にまかされます。ゆえに中国語の文法は簡単であるが、常識によって理解されるという特徴があります。

かつて、日本は中国から漢字をはじめ、言語や文化、律令制など多くのことを学びました。現代漢語については、1895年の日清戦争後に、西欧の事物・概念を表す語を中心に「和製漢語」の中国語への流入がはじまり、1898年に梁啓超が横浜市で『清議報』を発刊したことによってそれが本格化しました。1905年の中国同盟会結成頃から、優秀な学生が日本の大学などへ留学し、既に日本語化され定着した「和製漢語」などの西洋概念に触れ、日本の国語の影響を強く受けました。この新漢語の大量流入は1919年ごろまでに最盛期を迎え、その後も第二次世界大戦終了までは徐々に数量を減じながらも続けていました。実は、我々が習っている中国語の中には、元々、日本語の語彙もたくさんあります。日本と中国は「一衣帯水」の隣国であり、中国語は日本人にとって、親しみやすい外国語の一つでもあります。「和製漢語」をたくさん作り出した代表的な存在は、えっ！なんと、島根出身で、日本における「哲学の父」として、その名はよく知られている西周です。

外国語を勉強する時どんな外国語であれまず発音を勉強します。

ことばというのは歌のようなものです。歌であれば、まずお手本の歌を聞いてその音をまねてみますが、言葉もそれと同じです。まず聞いて、まねてみることから始めます。

中国語を聞いてみると、日本語の音の出し方とは違い、うまくまねることができないかもしれません。これは、音の出し方が日本語と中国語で異なるためです。

音の出し方は外国語によって違います。体を楽器にたとえるなら、楽器に触れる場所がそれぞれ違うのです。特に中国語は日本語と異なります。

日本語は口の前の部分でささやくように声を出します。一方、中国語は口の奥の方から、または口の中を大きく使って、うねる波のような音を出します。

では、自分に合った効率の良い中国語の勉強法を見つけましょう。勉強の合間に、ぜひ、お気軽に外国語教育センター・ワークステーションに来てみてください。学生スタッフもおりますので、とてもアットホームなところですよ！事務職員も外国語担当の先生も、皆さんの外国語勉強を徹底的にサポートいたします。